

製薬産業の研究開発の特徴

製薬産業の研究開発はリスクであり、多大な費用と時間の投資が必要。
製薬産業の対売上高研究開発費率は日本の全産業中トップ。

多大な費用と時間の投資(不確定性/不可測性と長期性)

- ①260～360億円/1製品上市(cf.米国大手:8億ドル)
- ②9～17年/1製品上市
- ③合成化合物の上市確率 ca. 1/12,000以下
- ④研究開発費8,837億円(総額)は全産業中、情報通信機械器具、自動車、機械に次いで4位(2003年)
- ⑤対売上高研究開発費率8.4%は全産業中トップ
(製薬協上位14社 14.3%:2003年)

[参考] 他産業の研究開発費

情報通信機械器具20,408億、自動車17,899億、機械9,174億

①～③は全て製薬協調べ、④、⑤は総務省「平成16年科学技術研究調査」